

レッドポインターの配線について

レッドポインターを交換する場合、機種、機体ロットにより配線の向きが異なっていることがあり、交換しても点灯しないことがあります。

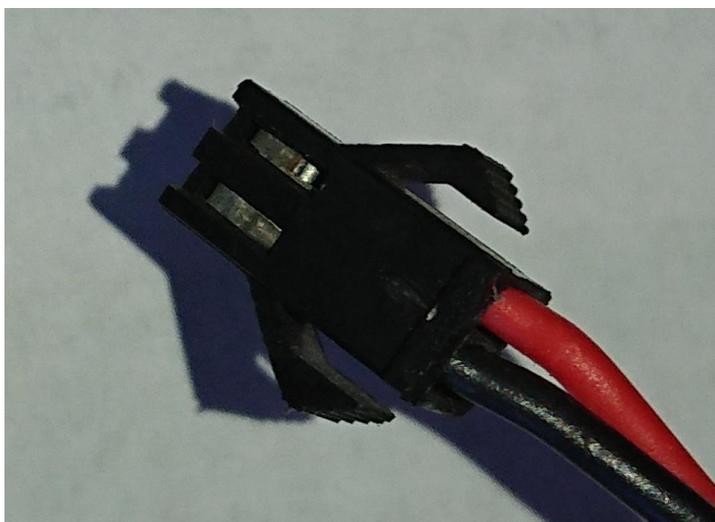
点灯しない場合は、コネクタの配線を入れ替える必要があります。



配線の入替えは、コネクタのピンを抜いてはめ替えますが、レッドポインター側のコネクタのピン(オス)は専用の引き抜き工具が無いと取り外すことが難しいので、配線側のコネクタのピンを抜いて、はめ替えます。

※ 引き抜き工具がある場合は、レッドポインター側のピンを差し替えてもかまいません。

配線側のコネクタ



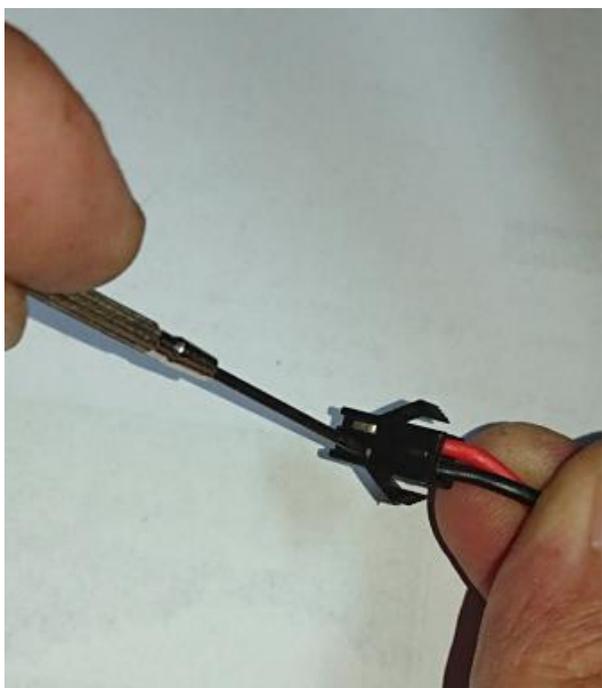
配線側のピン(メス)を差し替える場合は、マイナスの精密ドライバーを使用します。



精密ドライバーでピンの返し部分を抑え、配線を抜き取ります。ピンの返しを強く押さえすぎるとピンが変形してしまうので、力加減に注意してください。

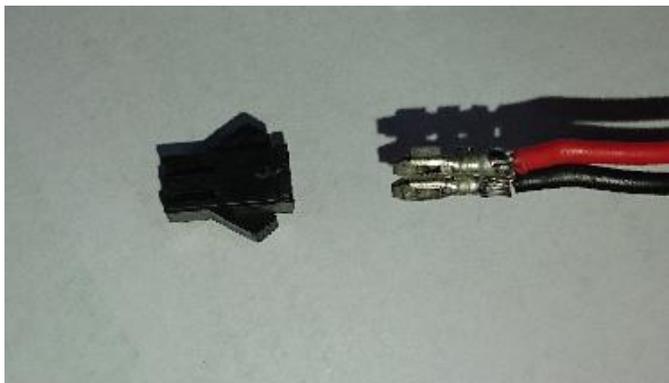
返しを押さえながら配線を引っ張ると、ピンは抜けます。ピンは一本ずつ抜いてください。

精密ドライバーでピンの返しを押す



一本ずつ、返しを軽く押さえながら、配線を引き抜きます。

ピンが抜けたら、入れ替えてピンをコネクタに挿して下さい。



※ 機種、ロットにより、配線の色が異なる場合があります。二本の線が同じ色の場合は、再び同じ場所に挿さないように注意して下さい。

※ ピンが変形してしまい、コネクタに挿してもすぐに抜けてしまう場合は、返しを起こして挿して下さい。